

防災・減災部門

応募事例名

県と市町が連携！「チーム愛媛」として下水道管理者が一丸となった減災対策の推進

応募団体名)愛媛県

応募事例の概要

平成30年西日本豪雨をきっかけに…

①県・県内市町・全国上下水道コンサルタント協会との間で技術支援協定を締結し…



②これを皮切りに、県内市町・日本下水道管路管理業協会間、及び県内市町・日本下水道事業団間においても復旧支援協定を締結し…



③さらに、県内を3ブロックに分けて合同現地調査訓練を実施するとともに、災害時の情報伝達訓練を実施しました。 → **今後、この取組みを継続**



技術支援協定締結式(R元.5.22 愛媛県庁)



現地調査訓練(東予ブロック)
R元.11.12



現地調査訓練(中予ブロック)
R元.11.18



現地調査訓練(南予ブロック)
R元.11.13



県内情報伝達訓練
R2.4.22

PRポイント

愛媛県では、災害が発生した際の初動対応や早期応急復旧が極めて重要であるとの認識のもと、令和元年5月、県・県内で下水道事業を実施している全ての市町(17市町)・全国上下水道コンサルタント協会との間で、「**災害時における下水道施設の技術支援協力に関する協定**」を締結しました。

また、この協定締結を皮切りに、17市町全てが、日本下水道管路管理業協会及び日本下水道事業団と、下水道施設の復旧支援に関する協定を締結できるよう調整しました。

さらに、こうした協定の実効性を向上させるべく、県内を3ブロックに分けて**合同現地調査訓練**を行うとともに、**災害時の県内情報伝達訓練**を実施しています。

なお、こうした訓練は、PDCAサイクルを回してスパイラルアップを図っています。

このような取組みを、「**チーム愛媛**」として、**県と県内の下水道管理者が一丸となって実施し、減災対策の充実を図っています。**